

平成30年度の取組に係る構成員別資料

宗谷総合振興局	
（稚内建設管理部）	P 1 ~ P11
（地域政策課）	P12 ~ P17
稚内地方気象台	P18 ~ P21
稚内開発建設部	P22 ~ P23
稚 内 市	P24
猿 払 村	P25
浜 頓 別 町	P26
中 頓 別 町	P27 ~ P29
枝 幸 町	P30 ~ P34
礼 文 町	P35 ~ P36
利 尻 町	P37
利 尻 富 士 町	P38
北 海 道 警 察	P39
稚内地区消防事務組合消防本部	P40
利尻礼文消防事務組合消防本部	P41
南宗谷消防組合消防本部	P42 ~ P45



北海道

北海道宗谷総合振興局の取組

～平成30年度ハード対策の主な取組 (1/6)

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

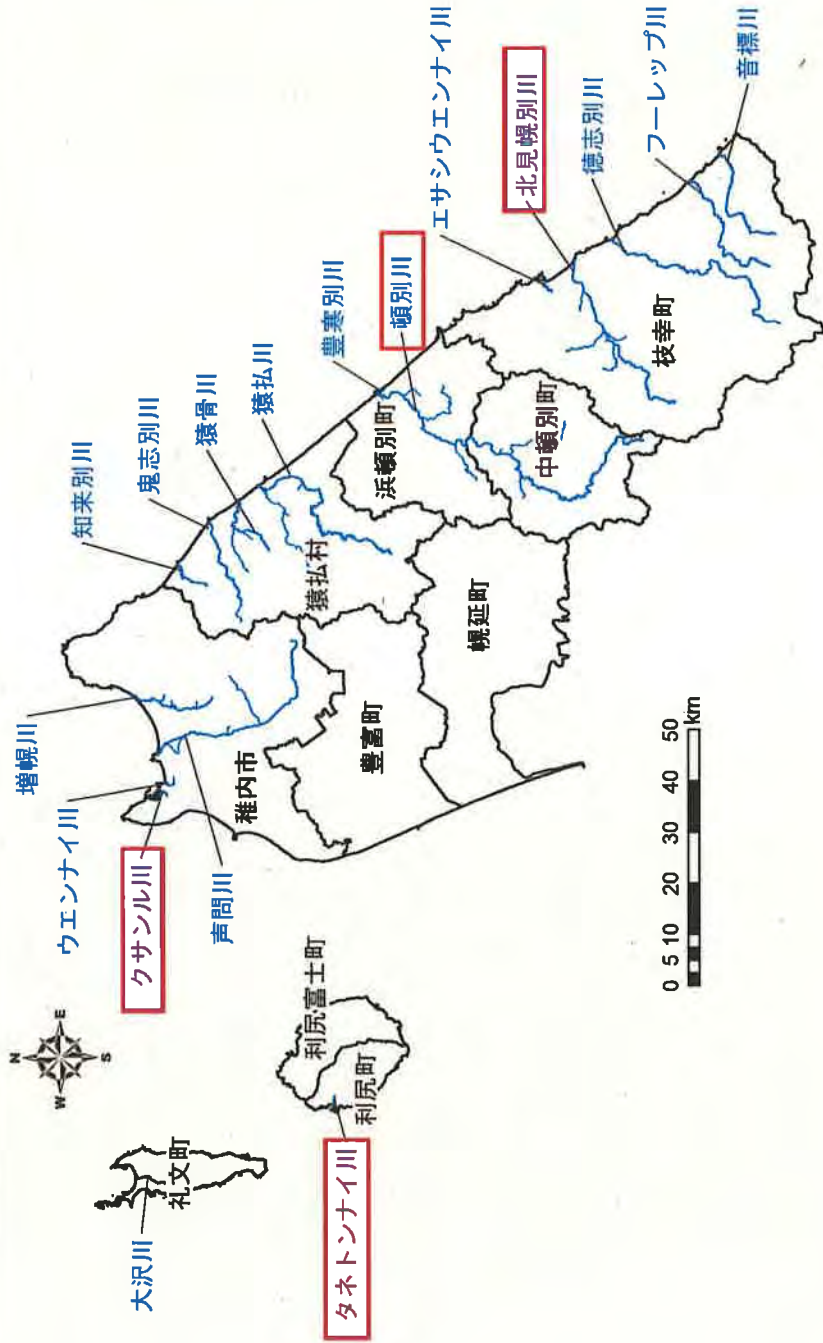
①堤防整備等

危機管理型ハード対策

①堤防天端の保護

■平成30年度ハード対策実施箇所および令和元年度予定箇所（2級河川）について

- ・クサンル川（稚内市）、頓別川（中頓別町、浜頓別町）、北見幌別川（枝幸町）にて、引き続き河川改修工事を実施
- ・タネトンナイ川（利尻町）にて、引き続き砂防堰堤の整備を実施





北海道

北海道宗谷総合振興局の取組

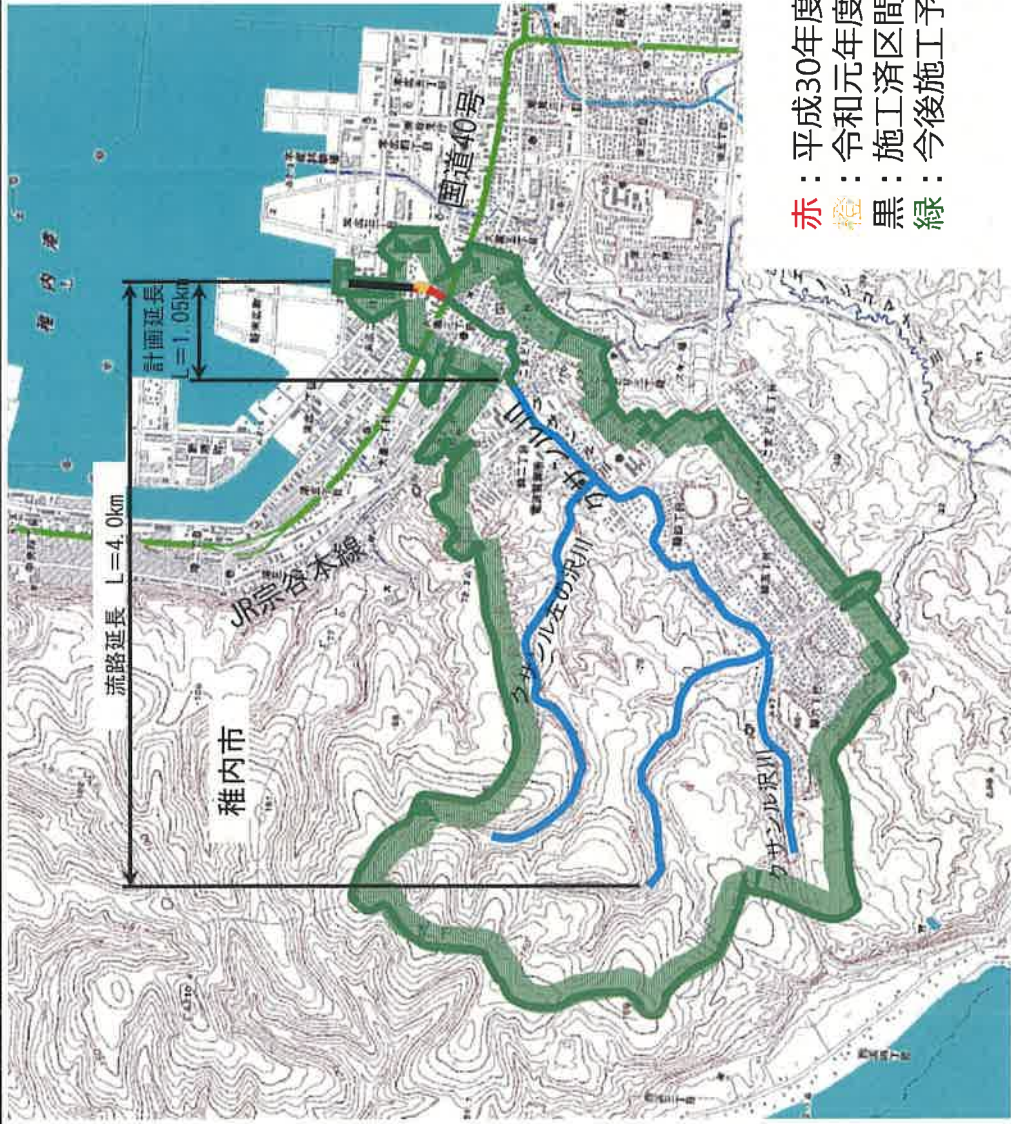
～平成30年度ハード対策の主な取組 (2/6)

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

①堤防整備等

クサンル川

- ・ 国道40号より下流区間の完成を目指し、河道拡幅工事を施工中
- ・ 国道40号より上流の施設設計、および用地買収・物件補償を進める



出典「国土地理院発行
2万5千分の1数値地図」

- 赤 : 平成30年度施工
- 橙 : 令和元年度施工予定
- 黒 : 施工済区間
- 緑 : 今後施工予定



北海道 北海道宗谷総合振興局の取組

～平成30年度 ハード対策の主な取組 (3/6)

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

- ①堤防整備等

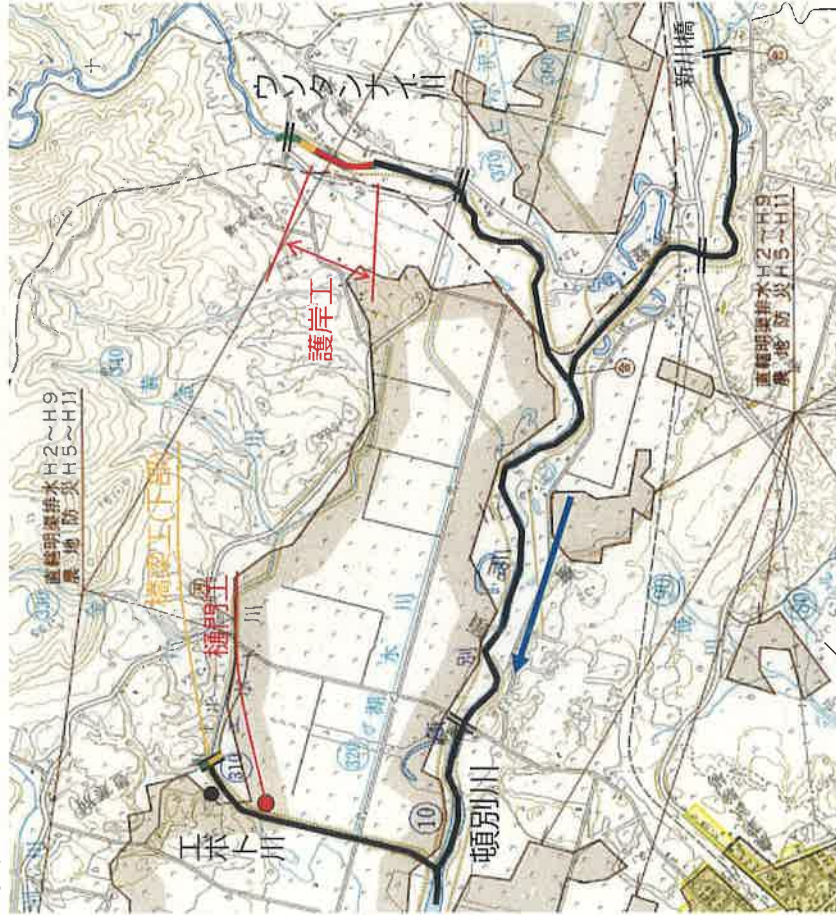
危機管理型ハード対策

- ①堤防天端の保護

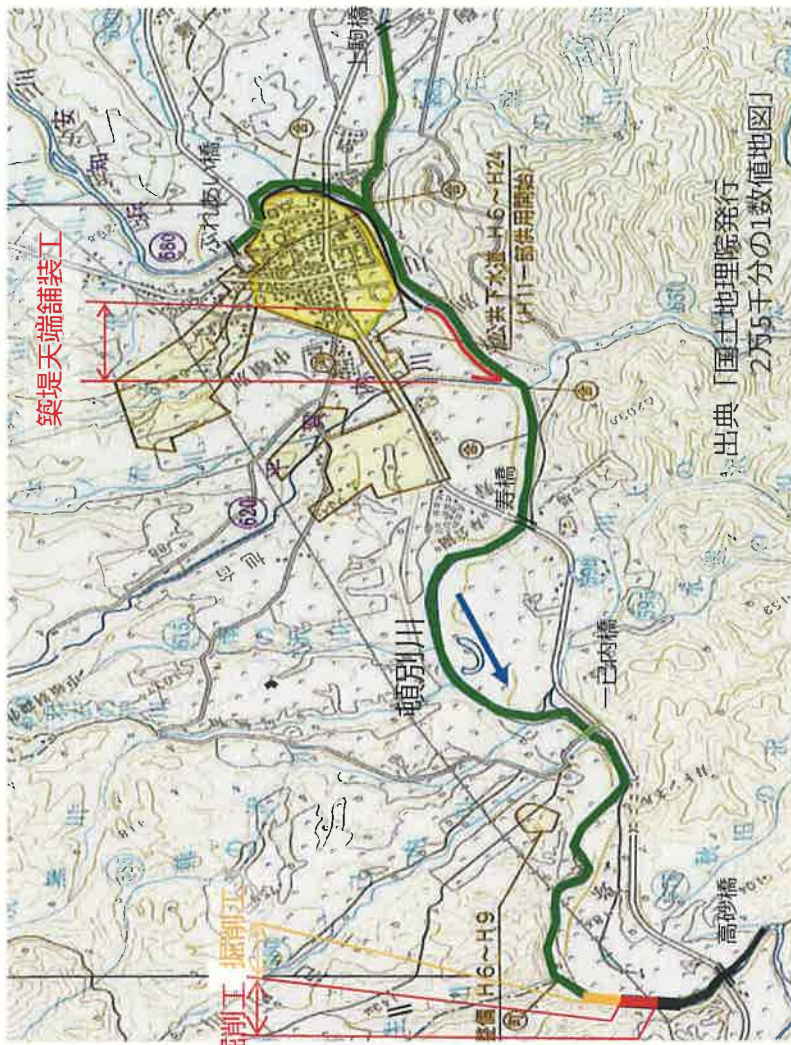
頓別川

- ・ 栄和地区 護岸 (ウソタンナイ川)、樋門 (工ボト川) を設置
- ・ 中頓別地区 掘削、築堤天端舗装を実施

栄和地区



中頓別地区



- 赤：平成30年度施工
- 橙：令和元年度施工予定
- 黒：施工済区間
- 緑：今後施工予定

出典「国土地理院発行
2万5千分の1数値地図」



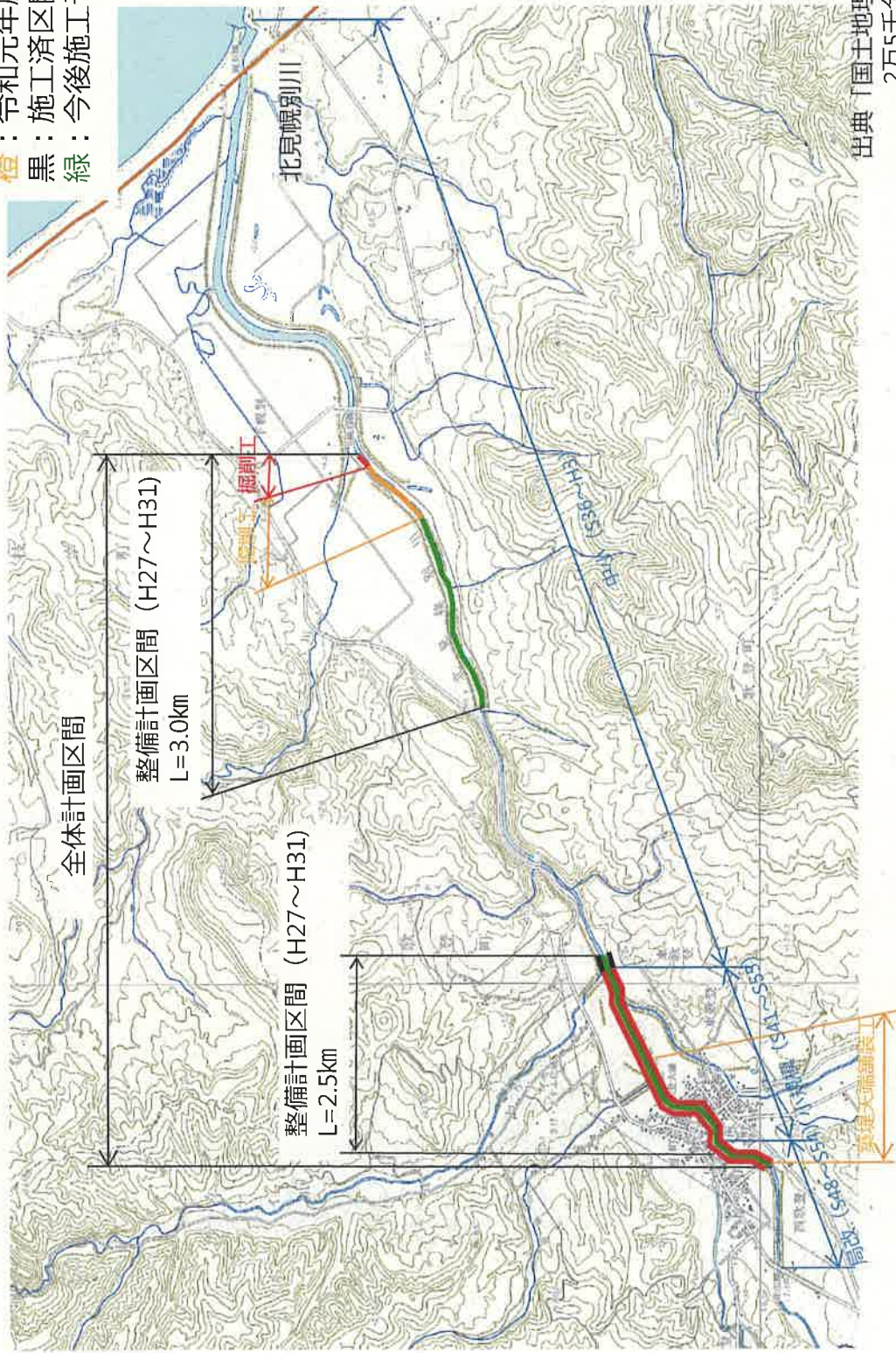
北海道 北海道宗谷総合振興局の取組 ～平成30年度ハード対策の主な取組 (4/6)

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

①堤防整備等

北見幌別川・上流区間の掘削（暫定断面）完成
 ・下流区間の掘削（完成断面）、上流区間の築堤天端舗装を予定

- 赤：平成30年度施工
- 橙：令和元年度施工予定
- 黒：施工済区間
- 緑：今後施工予定





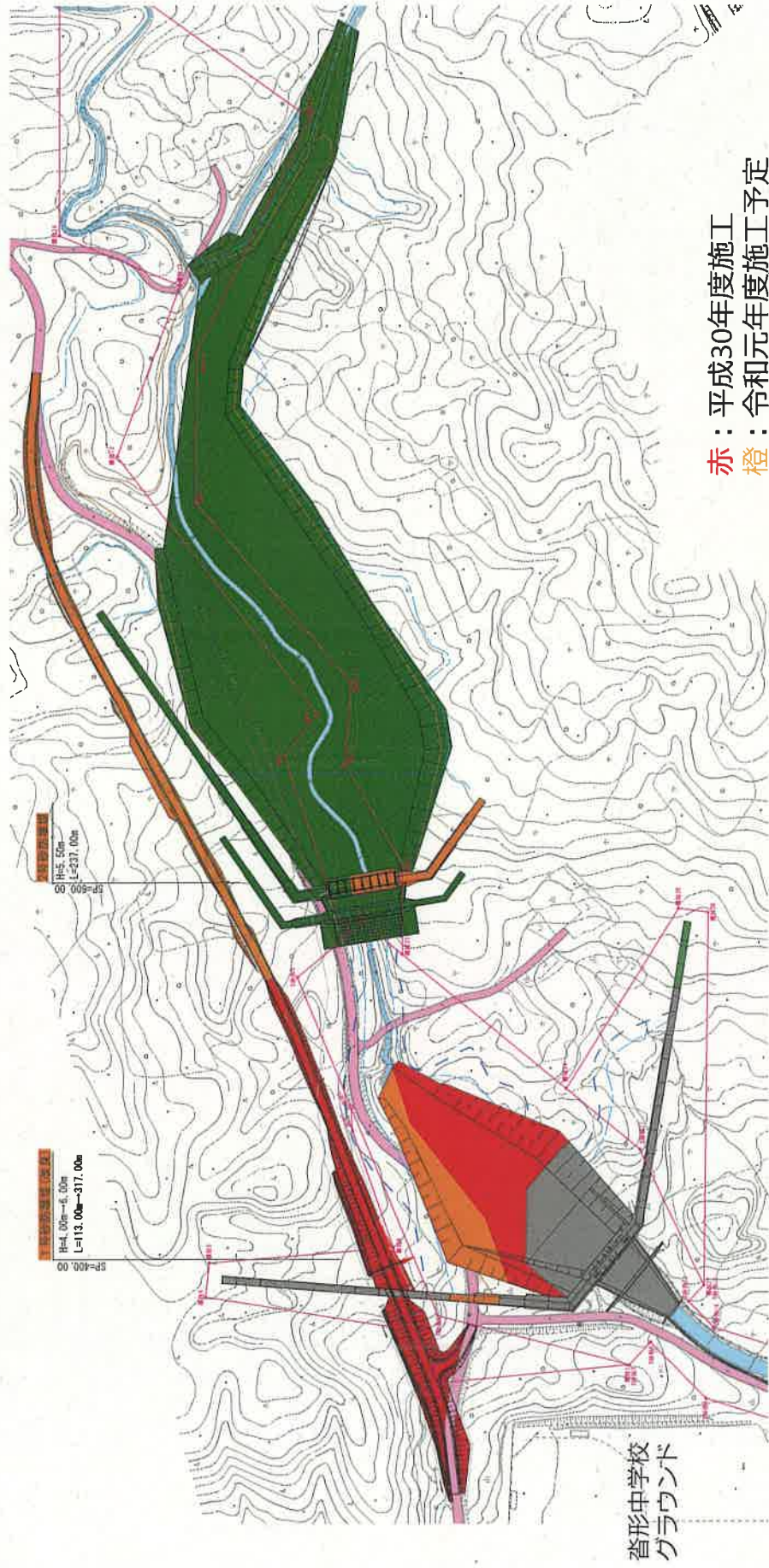
北海道 北海道宗谷総合振興局の取組 ～平成30年度ハード対策の主な取組 (5/6)

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

①堤防整備等

タネトンナイ川

・1号堰堤の完成を目指し、堰堤本体工事を進めると共に、林道移設工事を実施



赤：平成30年度施工
橙：令和元年度施工予定
黒：施工済区間
緑：今後施工予定

タネトンナイ川



洪水氾濫を未然に防ぐ対策

①堤防整備等

■河床堆積土砂除去、伐木工の実施

頓別川、兵知安川、北見幌別川、オムロシユベツ川において、河積阻害となつてゐる堆積土砂の除去や伐木を実施。



H30実施 北見幌別川 (伐木工)

実施前



実施後



避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

⑤ 水害リスクが高い箇所に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備

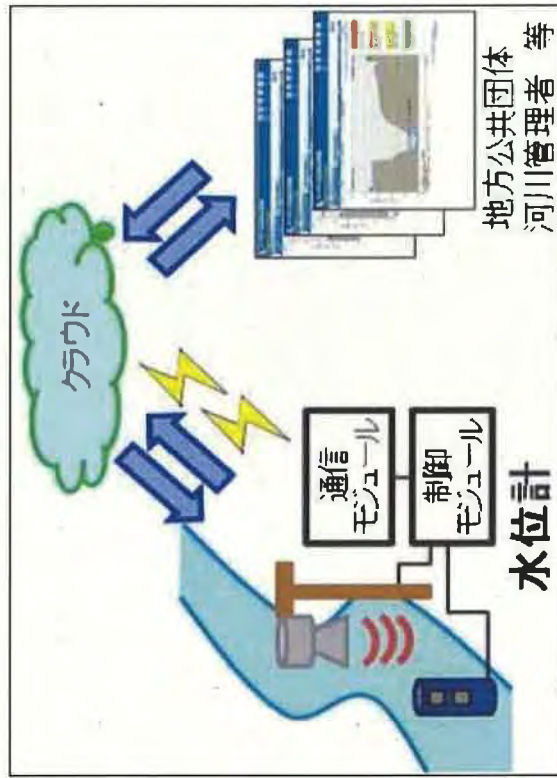
■ 危機管理型水位計の設置予定について

- ・ 中小河川において洪水時の避難判断の目安となる、リアルタイムでの水位状況の把握を目的に、洪水時に特化した低コストな水位計の配置計画を策定
- ・ 設置場所は、近年出水に伴う被害実績のある河川、浸水想定区域内に役場などの重要施設や要配慮者関連施設が立地している箇所について優先的に設置
- ・ 具体的な設置場所などについては、各市町村等と協議
- ・ 宗谷管内では平成31年度までに危機管理型水位計の整備を完了する予定

危機管理型水位計設置予定河川

市町村名	河川名
稚内市	クサンレ川 (H30)、一の沢川 (R1)
猿払村	知来別川 (R1)、猿骨川 (R1)
浜頓別町	ウンタンナイ川 (R1)、豊寒別川 (R1)、頓別川 (R1)
枝幸町	パンケナイ川 (H30)、北見幌別川 (H30)、 フーレップ川 (H30)、パンケナイ川 (R1)
利尻町	タネトンナイ川 (R1)
礼文町	大沢川 (R1)

イメージ



地方公共団体
河川管理者 等



情報伝達、避難計画等に関する事項

- ①想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへの反映

■ 洪水浸水想定区域図の作成について

対象河川：水位周知河川

【洪水浸水想定区域図】

平成27年度水防法の一部改正により、これまでの想定を超える浸水被害の発生に対応するため、洪水に係る浸水想定区域の対象降雨をいわゆる「計画規模降雨」から「想定しうる最大規模の降雨」に拡充され、新たな洪水浸水想定区域図を作成。

H29年度公表河川

頓別川

兵知安川

H30年度公表河川

北見幌別川

オムロシユベツ川

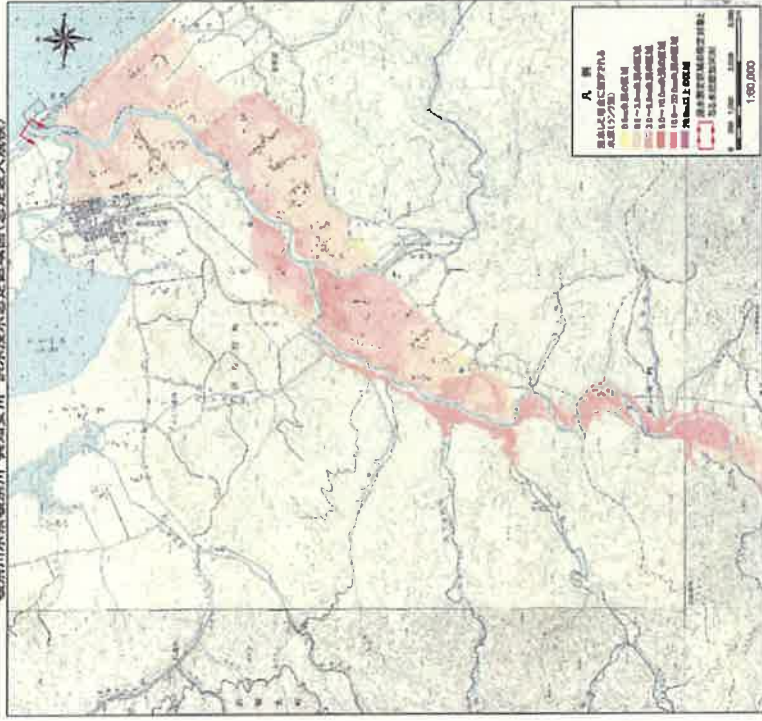
H30年度作成河川

ウエンナイ川

 **令和元年度公表予定**

洪水浸水想定区域図の事例

頓別川水系頓別川・兵知安川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



情報伝達、避難計画等に関する事項

- ①想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへの反映

■洪水氾濫危険区域図の作成について

対象河川：水位周知河川以外の道管理河川

【洪水氾濫危険区域図】 北海道独自の取組

- ・道管理河川において、最大規模の降雨を対象とした洪水氾濫危険区域図を作成し、情報提供を行う。

■洪水氾濫危険区域図作成済み

番号	水系名	河川名	市町村
1	夕ツガ川	一の沢川	稚内市
2	夕ツガ川	二の沢川	稚内市
3	夕ツガ川	夕ツガ川	稚内市
4	頓別川	クツチ川	浜頓別町
5	頓別川	夕ツガ川	浜頓別町
6	頓別川	宇津内川	浜頓別町
7	豊舞別川	豊舞別川	浜頓別町
8	頓別川	平賀内川	中頓別町
9	頓別川	知静内川	中頓別町
10	イソツガ川	イソツガ川	枝幸町
11	北見頓別川	夕ツガ川	枝幸町
12	北見頓別川	夕ツガ川	枝幸町
13	北見頓別川	夕ツガ川	枝幸町
14	北見頓別川	四輪川	枝幸町
15	徳志別川	徳志別川	枝幸町
16	徳志別川	夕ツガ川	枝幸町
17	夕ツガ川	夕ツガ川	枝幸町
18	音標川	音標川	枝幸町

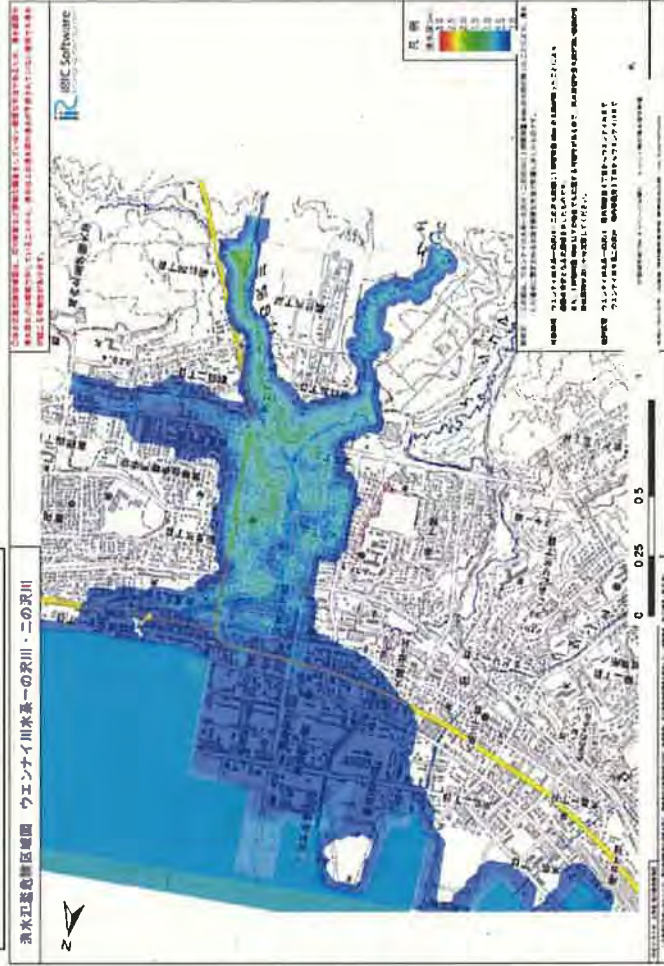
■H30洪水氾濫危険区域図作成予定

番号	水系名	河川名	市町村
1	声間川	声間川	稚内市
2	夕ツガ川	夕ツガ川	稚内市
3	増幌川	増幌川	稚内市
4	増幌川	夕ツガ川	稚内市
5	増幌川	増幌川	稚内市
6	鬼志別川	鬼志別川	稚内市
7	猿払川	猿払川	猿払村
8	猿払川	猿払川	猿払村
9	猿払川	夕ツガ川	猿払村
10	猿払川	一号線川	猿払村
11	猿払川	猿払川	猿払村
12	猿払川	夕ツガ川	猿払村
13	猿払川	夕ツガ川	猿払村
14	知来別川	知来別川	猿払村
15	大沢川	大沢川	礼文町
16	頓別川	夕ツガ川	浜頓別町
17	夕ツガ川	夕ツガ川	和尻町

※赤字 追加作成箇所

※洪水氾濫危険区域図は、簡便な氾濫シミュレーション解析により作成

洪水氾濫危険区域図の事例



北海道宗谷総合振興局の取組

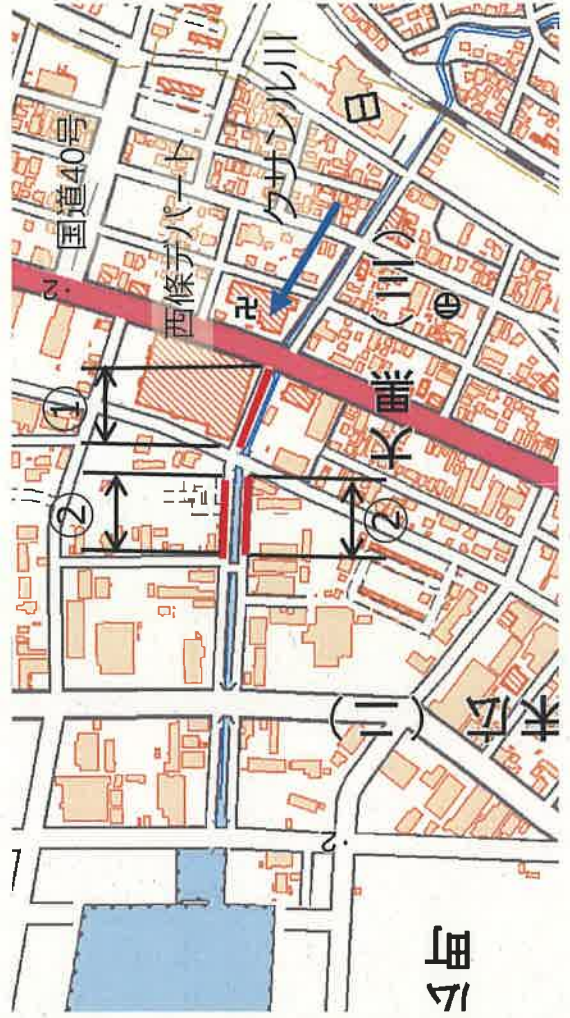
情報伝達、避難計画等に関する事項

②道路管理者との連携により避難経路を検討

■ 稚内建設管理部発注工事に係る交通規制について

番号	市町村	工事名	通行止め道路名	通行止め延長(予定)	通行止め期間(予定)	
					開始	終了
①	稚内市	平成29年度 クサンル川総合流域防災工事(補正)(繰越)	市道 大黒9条1号通	90m	平成29年5月19日	平成31年3月29日
		平成31年度 クサンル川総合流域防災工事			令和元年7月21日	令和2年3月31日
②	稚内市	平成30年度 クサンル川総合流域防災工事	市道 末広4条通 /市道 末広5条通	各90m	平成31年1月21日	令和元年7月20日
		平成30年度 クサンル川総合流域防災工事(補正)(繰越)			平成31年4月1日	令和元年12月10日

至潮見



至中央

- ※
- ①交通規制は令和元年5月現在
通行可能
 - ②交通規制は令和元年度末
(令和2年3月31日)迄に想定
される最大の区間

情報伝達、避難計画等に関する事項

③避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成および支援

■道管理河川における水害対応タイムラインの作成について

【水害対応タイムライン（避難勧告着目型）】

・洪水時の河川氾濫の発生を前提に、河川管理者、市町村が連携して、洪水時の状況をあらかじめ想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理したもの。

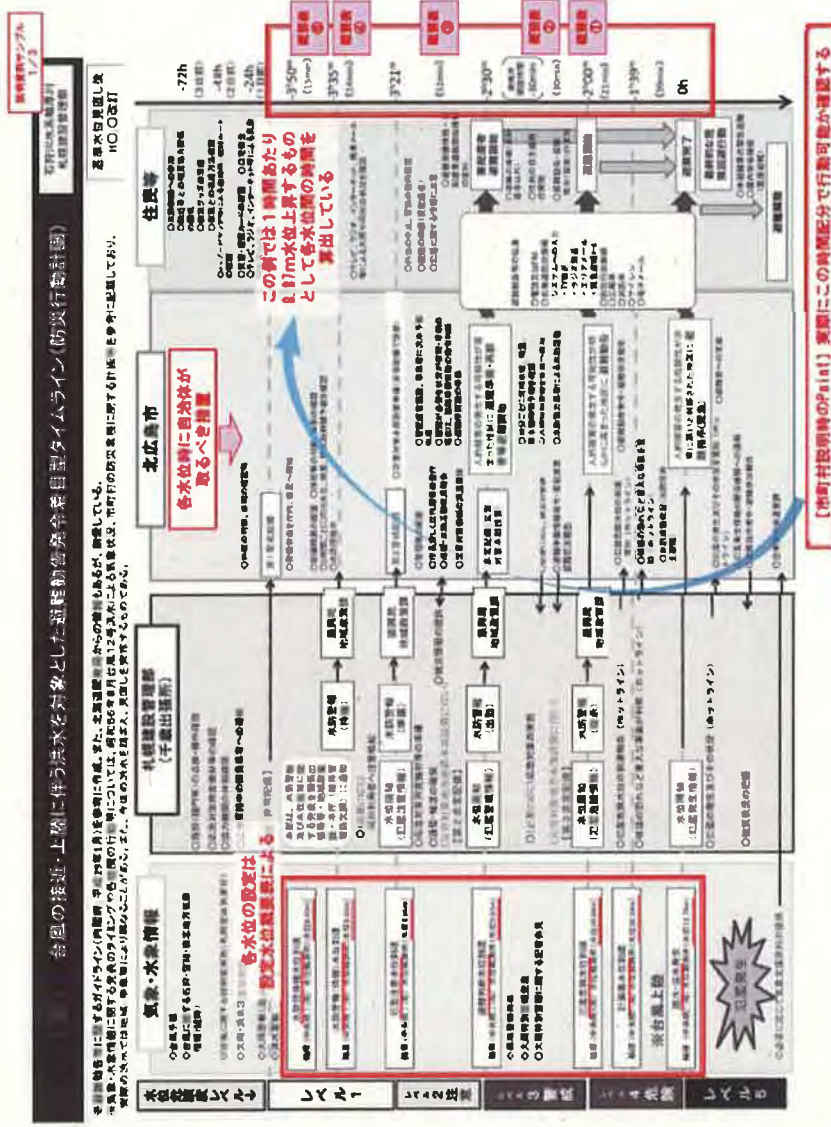
◎避難勧告着目型：市町村長による避難勧告等の発令に着目し作成

H30 市町村とタイムラインについて協議

～ (H30.7) 運用（試行）開始

R1以降 防災訓練等に活用

～見直しが必要な場合随時行う。



対象河川：水位周知河川

ウエンナイ川、頓別川、兵知安川、北見幌別川、オムロシユベツ川

市町村の防災訓練を応援します

暴風雪を想定した災害対策本部運営訓練を企画しろと言われてたけれど

おまかせください！

何から準備すれば？



無料で
訓練のプロが支援します。

災害対策の専門的知識と経験を有する元自衛官が市町村が実施する訓練の企画・実施を支援します。



①企画支援



②資料作成支援



③職員教育等支援



④訓練実施支援

訓練を実施するまでの流れ

調整の一場面 ☆市町村の担当者

- | | | |
|------|---------|-------------------------|
| 3ヶ月前 | 企画のご相談 | ☆こんな想定で訓練をしたいけど。 |
| 2ヶ月前 | 企画書のご提案 | ☆ここを、もっとこうしたいけど。 |
| 1ヶ月前 | 最終調整 | ☆あと、やっておかなければならないことは何か。 |
| 訓練前日 | 最終準備 | ☆準備は万全だね。 |

まずはお気軽にご相談を

連絡先
北海道総務部危機対策局危機対策課
危機調整グループ 危機対策調整員 上段 貞二
TEL : 011-204-5007 (直通) 内線 22-567
FAX : 011-231-4314
E-mail : uedan.teiji1@pref.hokkaido.lg.jp

「一日防災学校」の実施について

～児童生徒に対する防災教育の取組～



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

(平成29年度 道防災総合訓練)

▷授業の中に防災の要素を取り入れ (北郷小学校)

1学年から6学年にわたり、1時間目から5時間目までのどこかに、授業の中に防災の要素を取り入れ、児童生徒が防災について考える一日 → 「一日防災学校」の実施

1日防災学校 (時間割)

1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	つくし
1	国語	国語	国語	国語	国語	国語
2	算数	算数	算数	算数	算数	算数
3	図工	図工	図工	図工	図工	図工
4	総合	総合	総合	総合	総合	総合
5	道徳	道徳	道徳	道徳	道徳	道徳
6	体育	体育	体育	体育	体育	体育
7	音楽	音楽	音楽	音楽	音楽	音楽
8	家庭科	家庭科	家庭科	家庭科	家庭科	家庭科
9	英語	英語	英語	英語	英語	英語
10	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動
11	給食	給食	給食	給食	給食	給食

(授業展開例)

▷新聞紙となかよし (2年図工)
新聞紙の特徴を生かし、スリッパづくりを行う。身の回りのもので、災害時に役立つものを学ぶ。

▷工夫しようおいしい食事 (6年家庭)
ハイゼックスを用いた蒸しパン、うどんの試食を通じ、日常時における食事と災害時における食事について考え、実際に試食することでその大切さを知る。

(平成30年度「一日防災学校」モデル実践校の選定)

▷実施期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

▷実施市町村、校数

1 4振興局 3 0市町村 (1 振興局当たり 2 ~ 3 市町村程度)

▷実践指定市町村、学校の選定

- 蓄積された防災教育コンテンツの活用
- 防災訓練企画
- 防災関係機関との調整

× 連携

- 既存教材の活用
- 学習指導案の作成
- 授業展開

※防災教育、防災訓練など積極的に実施している市町村、学校から選定

▷スケジュール

小中学校における次年度に係る年間行事予定作成の都合上、平成29年12月末までに、対象校の選定をしたい。

(参加した先生方からの感想)

「一日防災学校」は素晴らしい取組なので、全道展開してほしい。

教職員、子供たちともに、貴重な経験ができた。一方で、学校側、道庁側によって、もう少し負担が少なくなると良い。

▷蓄積された防災教育コンテンツの活用

- 遊び・楽しみながら取組
 - 北海道防災かるた
 - 新聞紙スリッパ制作
- 地域や学校と一緒に取組
 - 避難所運営ゲームHUG北海道版 (D o はぐ)
 - 防災運動会
- 災害体験やキャリア教育に関連
 - 防災関係機関の災害対応と出前講話
 - 消防車等車両展示、試乗・放水体験
 - 市町村主催の防災訓練参加

(期待される効果)

★「生きる力」「想像力」を子供たちに育む

- 学校や地域における防災教育をより一層充実し、1人1人が自然災害を正しく理解し、自らの的確な判断の下で、防災・減災行動をとれるようにしていく能力(生きる力)を育成。
- 自然災害に対する行動は、地域、災害種別、地形、人口などによって異なることから、発生する事象を事前に見ようとすると「想像力」、想定される災害イメージに対して、具体的な対策を考える「想像力」の育成が必要。

★学校・地域・行政の連携による地域防災力の向上



早めに学習!



【補足】

10月23日(火)実施 「礼文小学校」 全校49名 (3時間目から開始)

校時	学年	科目	備考
3時間目	全学年	特別活動 「避難訓練・防災講話」	【避難訓練】 全校避難訓練により前庭に避難し、「おはしも」「避難経路」を確認。 【防災講話】 礼文町役場田住防災監により、東日本大震災等を例に自然災害から身を守るため、自らできる防災行動について考える。シェイクアウト訓練の実施。
4時間目	1・2学年	図工 「新聞スリッパを作ろう」	災害時に必要なものを考え、身近な素材を活用して防災グッズ(新聞紙スリッパ)を作成。
	3・4学年	社会 「オリジナルハザードマップを作ろう」	役場一会所前―香中坂(標高を記録しておく)―学校を歩きながら、標高や実際の建物(花れぶん)の高さ等を意識しながら、津波発生時にはどの高さまで、避難すれば良いかを考える。
	5・6学年	家庭科 「非常食を作ろう」	災害時の非常食として、ハイゼックスによる炊飯と、味噌汁づくりを体験。
給食	1～4学年	受け取り体験、非常食の実食	5・6年生が家庭科で調理した、災害食等を体育館で配膳、実食。
	5・6学年	炊き出し体験、非常食の実食	
5時間目	全学年	特別活動、総合 「1日防災学校を振り返ろう」	各学年でそれぞれの体験に基づき、災害時の生活には、何が必要か考えたり、オリジナルハザードマップの作成を行う。

11月20日(火)実施 「浜頓別小学校」 全校126名 (2時間目から開始)

校時	学年	科目	備考
2時間目	2学年	図工 「新聞紙スリッパづくり」	身近な素材である新聞紙を活用し、災害に遭ったときの生活を考えて作成する方法を学ぶ 枝幸警察署警備係 伊藤係長により作成方法の解説。
3・4時間目	3・4学年	社会 「災害からくらしを守る」	北海道開発局稚内開発建設部 前田防災対策官、五十嵐防災対策専門官による災害についての講話。 災害時に使用する車両(照明車、消防車、救助工作車)を見たりすることで、災害からくらしを守る様々な車両があることを学ぶ。
	5学年	家庭科 「災害食を調理しよう」	災害時を想定し、身近にある材料で、災害食を調理する。 (ハイゼックスによる炊飯、鮭の水煮缶を用いた三平汁)
5時間目	1学年	学活 「北海 Do 防災かるたで学ぼう」	北海 Do 防災カルタを用いて、防災についての関心を高め、災害に対して自ら身を守るための方法を学ぶ。
6時間目	6学年	総合 「避難所運営を体験しよう」	浜頓別町のハザードマップを確認したり、災害時の避難所での生活について考え、災害時に快適に寝るための段ボールベッド作成を体験。

● 1日防災学校（浜頓別小学校）



「北海道の防災かるたでまなぼう」



「しんぶんしスリッパづくり」



「災害からくらしを守る」



「避難所運営を体験しよう」



「災害食を調理しよう」



「災害食を調理しよう」

宗谷防災講座について

1 本講座の目的

近年、全国各地で台風や大雨、地震・津波などの自然災害が相次いで発生しています。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」により、東北から関東にかけて地震や津波により甚大な被害をもたらし、多くの人命・財産が失われました。

また、大雨による浸水や土砂災害も全国各地で発生しているほか、去年は北海道に5つの台風が接近・上陸した影響で大きな被害が発生しており、この時も人命・財産が失われ、さらには産業にも大きな影響を与えています。

このような自然災害から身を守るためには、行政による公助はもとより、個々人の自覚に根ざした自助、身近な地域コミュニティ等による共助が必要であり、平時における災害への備え、災害が発生する現象の理解、災害時に防災関係機関から発信される様々な防災情報について正しく理解し、防災情報に基づく避難行動等の判断が要求されます。

しかし、大きな災害が発生した場合、防災活動を行う行政やその他の防災機関も被災者となることから、発災直後から救助活動を行うことは困難で、本格的な防災活動を行うまでにはある程度の時間を要します。

このような状況の中で被害を最小限に食い止めるためには、皆さんが「自らの生命は自らで守る」という意識を持ち、地域の防災活動を行うことが不可欠になります。

この講座では、皆さんが地域防災活動で活躍されるための一助となるよう災害への備えや災害が発生した場合の行動などについて学習します。

2 北海道地域防災マスターの認定

- (1) 本講座を受講した方の中で希望する方のうち、地域の防災リーダーとして活動が見込めると認めた場合、「北海道地域防災マスター」に認定しています。
- (2) 認定対象
 - ① 防災経験者
(警察、消防、自衛隊、市町村、北海道、開発局、气象台等の防災関係機関の退職者等)
 - ② 地域防災活動者
(防災士、自主防災組織・町内会で防災活動を行っている方または今後取り組んでいく意欲のある方)

3 時間割

司会：北海道宗谷総合振興局地域創生部地域政策課

09:30 ～09:35	開会挨拶 主催者代表 〇〇市町村長	
09:35 ～09:55	1時間目 防災について	北海道開発局稚内開発建設部 防災対策官
09:55 ～10:15	2時間目 北海道地域防災マスターに ついて	北海道宗谷総合振興局 地域創生部地域政策課 主査(防災)
10:15 ～10:25	(休憩)	
10:25 ～11:15	3時間目 応急救護について	稚内地区消防事務組合消防署 〇〇支署
11:15 ～12:00	4時間目 知っているのと役に立つ気象 情報	稚内地方气象台 予報官
12:00 ～13:00	(昼食)	
13:30 ～13:30	5時間目 地震と津波	稚内地方气象台 地震津波防災官
13:30 ～14:00	6時間目 河川防災について	北海道宗谷総合振興局 稚内建設管理部治水課 主査(河川・防災)
14:00 ～14:15	(休憩)	
14:15 ～14:45	7時間目 〇〇市町村の防災体制に ついて	〇〇市町村××課 主任
14:45 ～14:55	(休憩)	
14:55 ～16:25	8時間目 避難所運営ゲーム(Doはぐ)	北海道宗谷総合振興局 地域創生部地域政策課 主査(防災)
16:25 ～16:30	閉会挨拶 主催者代表 北海道宗谷総合振興局 地域創生部地域政策課 主幹	

稚内地方気象台の取組み



気象庁
稚内地方気象台
Wakkanai Local Meteorological Office
Japan Meteorological Agency

2 ソフト対策の主な取組

- ① 広範囲に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組
 - 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
 - ④小学生を中心とした河川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施

河川管理者・関係機関と連携した平時における住民への防災啓発

【稚内市と内閣府で実施する地震津波訓練】

内閣府では、毎年11月5日の「津波防止の日」「世界津波の日」の前後の期間で地方公共団体との共催により全国10箇所程度で「地震・津波防災訓練」を実施している。今年度は北海道エリアで稚内市が選出され、内閣府・北海道・稚内市の主催により本訓練が実施され、気象台は主催機関の要請を受けて講話を行った。訓練の趣旨から「地震津波防災講話」のみを計画していたが、西日本豪雨災害を受けて「機会ある毎に大雨防災を住民に普及啓発する」という内閣府の意向により、「気象防災講話」も行うこととなった。

併せて、防災気象情報の利活用を目的としたパネル展示を行った。

実施日：平成30年10月28日
場 所：稚内市声問小学校



稚内地方気象台の取組み



気象庁

稚内地方気象台

Wakkanai Local Meteorological Office
Japan Meteorological Agency

- 2 ソフト対策の主な取組
 - ② 広範囲にわたる氾濫被害から地域を守り、被害を最小化するための水防活動・復旧に関する取組
 - 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
 - ⑦ 市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組みを行う

市町村防災担当者の研修等のサポートを実施

【市町村職員を対象とした研修会】

気象台は、緊急時及び平常時の気象や地震の防災に関する連携は、各市町村の防災担当職員を主として遂行してきたが、悪天時には他の部署等の職員も対応を行っていることから、**幅広く市町村職員を対象に「自ら地域特性に応じた災害リスクの認知を高め、災害発生と関連の強い防災気象情報を理解することにより、防災力向上につなげることを目的に各市町村に出向き、防災講話を行った。**

実施日：平成30年8月～12月



稚内地方気象台の取組み

- 2 ソフト対策の主な取組
- ② 広範囲にわたる氾濫被害から地域を守り、被害を最小化するための水防活動・復旧に関する取組
 - 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
 - ⑧ 市町村向け川の防災情報による河川水位や排水設備等情報の共有

避難勧告の発令の目安となる注意報、警報、気象情報、流域雨量指数とその予測値等の情報発表

【水位上昇の見込みを判断するための「予測情報」の把握・活用】

気象台では、水位上昇の見込みを判断するための情報として、大雨により水位上昇の見込みを判断するための情報の1つとして**流域雨量指数の予測値（洪水警報の危険度分布）**を提供している。

【参考】流域雨量指数の予測値（洪水警報の危険度分布）

流域雨量指数の予測値

河川の上流域における降雨によって、どけだけ下流の対象地点における洪水危険度が高まるかを把握するための情報。**6時間先までの水位上昇の見込みが分かる。**

平成29年07月05日13時30分現在

市町村	基準河川	基準Ⅲ		基準Ⅱ		基準Ⅰ		既往最大事例					
		指数	基準	指数	基準	指数	基準	時	時				
朝倉市	小石原川	18.8	17.1	13.6	4	5.6	7.7	9.2	9.4	5.6	7.9	7.9	17.1
	佐田川	17.7	16.1	12.8	4	9.1	14.5	15.9	13.4	1.3	10.1	9.4	15.5
	桂川	13.6	12.4	9.9	3	7.4	4.7	15.7	10.1	3.4	7.7	7.2	13.7
草野川	赤谷川	13.2	12.0	9.6	2	9.4	11.1	9.6	8.1	3	6.5	6.0	13.6
	草野川	4.1	3.7	2.9	1	1.0	1.0	1.0	1.0	0	1.0	1.0	3.9

(気象庁防災情報提供システムで提供。一部加工。)

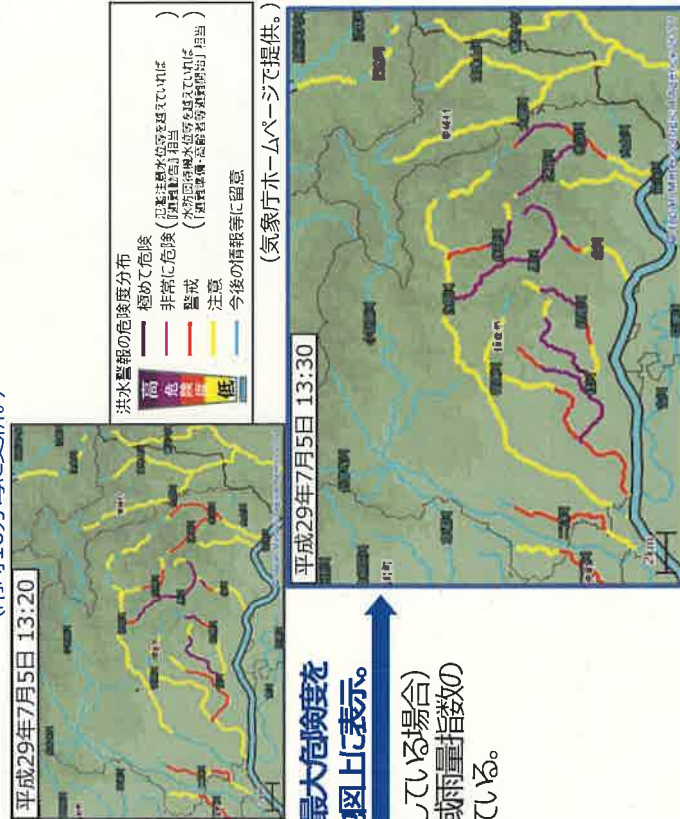
※「避難勧告等に関するガイドライン」において、その他河川では、水位情報（水位を観測している場合）や現地情報を活用した上で、水位上昇の見込みを判断するための情報の1つとして流域雨量指数の予測値（洪水警報の危険度分布）を避難勧告等の発令の参考とできる旨記載されている。

「避難勧告等に関するガイドライン」水位上昇の見込みを判断するための情報

	洪水予報河川	水位周知河川	その他河川
確からし	① 水位予測（指定河川洪水予報）	上流の水位（上流地点に水位観測所がある場合）	
	②	流域雨量指数の予測値	
	③	実況雨量や予測雨量（流域平均雨量、代表地点の雨量等）	

洪水警報の危険度分布

3時間先までに危険度がどこで高まるか確認できる。
(常時10分毎に更新。)



3時間先までの最大危険度を地図上に表示。

(気象庁ホームページで提供。)

- 2 ソフト対策の主な取組
- ③ その他
 - 災害対応に関する事項
 - ② 災害情報の共有体制の強化

気象台と宗谷総合振興局との共催により毎年出水期前に「防災情報に関する打ち合せ会」を開催し
防災情報を共有している。

【防災情報に関する打ち合せ会】

各機関防災担当への防災気象情報に係る知識の浸透と宗谷管内における地域防災業務のより確
実・円滑な遂行を目的として、宗谷総合振興局との共催で本打ち合せ会を開催している。

実施日：平成30年7月

場 所：稚内市、枝幸町、利尻町、礼文町



稚内開発建設部

10月28日（日曜日）、内閣府・北海道・稚内市が主催する「平成30年度地震・津波防災訓練」において、災害対策用車両（照明車）、啓発用パネル展示を稚内市立声問小学校にて行いました。

本訓練は、地域住民、自主防災組織及び防災関係機関等が参加する地震・津波災害を想定した各種訓練を実施し、災害発生初期において実施すべき災害応急対策等を迅速かつ的確に実施できるようにするとともに、地域住民の防災力向上を推進し、地震・津波災害時における人的被害の軽減を図るものです。

当日は、屋外にて照明車を作業姿勢で設置・展示し、また、屋内では「平成28年熊本地震」における被災自治体支援を例にTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣についてパネル展示を行いました。

稚内開発建設部では、地域防災力の向上に寄与することを目的として、今後も取組を継続していきたいと考えております。

